

名古屋大学<工学研究科 研究員>公募要領

東海国立大学機構が指定する業務

1	募集件名	研究員（数値計算）
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構
3	所属	名古屋大学 大学院工学研究科 応用物理学専攻
4	募集内容	<p>職務内容（業務内容、担当科目等）</p> <p>[雇入れ直後]</p> <p>ムーンショット型研究開発事業目標 10「2050年までに、フュージョンエネルギーの多面的な活用により、地球環境と調和し、資源制約から解放された活力ある社会を実現」の研究開発プロジェクト「超次元状態エンジニアリングによる未来予測型デジタルシステム」の課題「数値線形代数の大規模問題を中心とした数理応用手法の構築と有用性実証」の推進を行います。</p> <p>具体的には線形方程式・固有値問題・特異値問題の数値計算アルゴリズムのコード開発や研究を行います。計算アルゴリズムの研究開発に関心・意欲があれば、これまでの研究分野は問いません。ただし、FortranかC、もしくはPythonのいずれかを用いたプログラミング経験を有することが望ましいです。</p> <p>[変更の範囲]</p> <p>東海国立大学機構が指定する業務</p>
		<p>[勤務地]</p> <p>（雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区不老町</p> <p>（変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所</p>
		研究員 1 名
		2025年8月1日以降のできるだけ早い時期
5	募集研究分野	計算科学・応用数学など数値計算に関わる分野
6	勤務形態	<p>常勤（任期付）</p> <p>契約期間：期間の定めあり（採用日から 2026年3月31日まで）</p> <p>契約の更新可能性：有（通算契約期間：最長 2030年3月31日まで）</p>

		(契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等で判断) 試用期間：あり(採用日から6か月)
7	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等の詳細] <ul style="list-style-type: none"> <li>・博士の学位を取得した者、あるいは取得見込みの者</li> <li>・上記研究内容に取り組む意欲のある者</li> <li>・業務上、必要となるため、日常会話程度の日本語能力を有する者(国籍は問わない)</li> </ul>
8	待遇	[採用後の待遇(給与、勤務時間、休日、保険等)] <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。  <a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm</a></li> <li>・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において定める年俸制とする。  <a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110000191.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110000191.htm</a></li> <li>・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日)</li> <li>・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険</li> <li>・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止</li> <li>・学歴・職歴等を考慮して決定し、年俸の1/12を毎月支給します。          なお、1年毎に行う業績評価結果に基づき、年俸を改定することがあります。  <b>【例】</b>博士学位取得後、満27歳の初任給 年額540万円(月額45万円)</li> </ul>
9	応募期限	2025年7月31日(木)  随時選考を行い、採用枠が埋まった時点で受付を締め切ります。

10	応募・ 選考結果 通知の 連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 履歴書（任意の様式） 写真添付、可能な就任時期、取得学位名を明記すること。</li> <li>2. 研究業績リスト（任意の様式） 論文・学会発表・受賞・獲得した研究費</li> <li>3. 論文別刷 主要な論文（学位論文及び投稿中又は投稿予定を含む） 3編程度を添付すること。</li> <li>4. 研究歴（任意の様式）A4判1ページ以内</li> <li>5. 就任後の抱負（任意の様式）A4判1ページ以内</li> <li>6. 応募内容について照会できる1名の氏名・所属・連絡先</li> </ol> <p>以上の書類を、応募期間内（必着）に Eメールにて提出ください。 提出先：<a href="mailto:sogabe@na.nuap.nagoya-u.ac.jp">sogabe@na.nuap.nagoya-u.ac.jp</a> 問合せ先：名古屋大学 大学院工学研究科 准教授 曾我部知広</p> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類選考の上、面接（対面またはオンライン）を実施。</li> <li>・面接実施者については、メールで連絡を行う。</li> </ul>
11	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋大学は業績（研究業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</li> <li>・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。</li> <li>・面接に要する交通費は支給しません。</li> <li>・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。様式は下記からダウンロードしてください。</li> </ul> <p><a href="https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/Swfp7NdH7PGif4">https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/Swfp7NdH7PGif4</a></p> <p>また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。</li> </ul> <p>ジェンダー・ダイバーシティセンター Web サイト： <a href="https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/">https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/</a></p> <p>ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&amp;ビロニング（Diversity, Equity, Inclusion &amp; Belonging: DEIB）推進宣言： <a href="https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html">https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html</a></p>

	<p>・ 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。</p>
--	---